

仕 様 書

京都市建設局 伏見土木みどり事務所 （担当：石田・杉本 TEL：075 - 611 - 5371）

件名 柳長公園他トイレ洋式化について

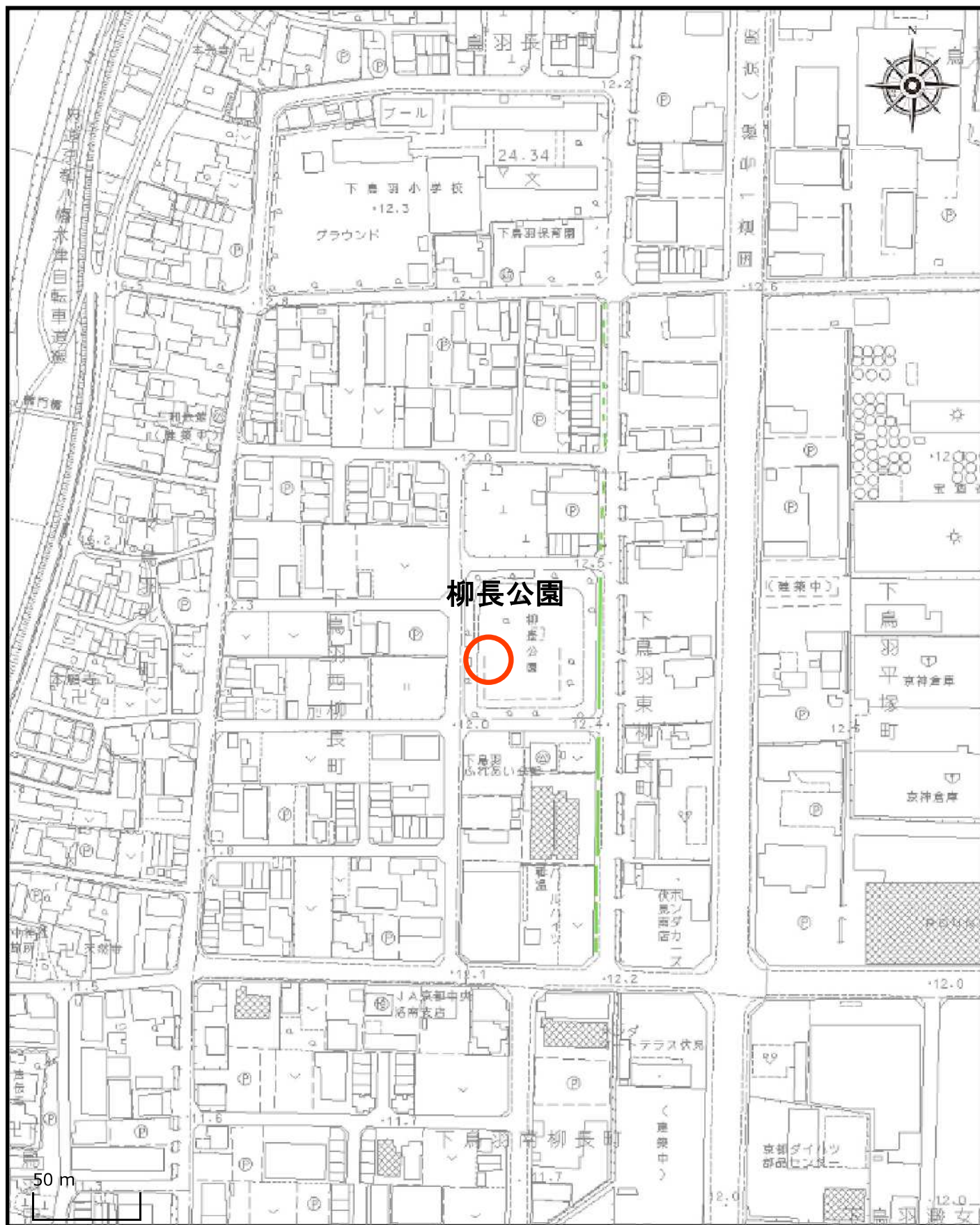
- 1 納品場所 ① 柳長公園 便所 京都市伏見区下鳥羽東柳長町 地内
② 大受新開公園 便所 京都市伏見区石田大受町 地内
- 2 納品数 ① 大便器 N=1
② 大便器 N=1
- 3 納期 契約日の翌日から令和8年2月27日
- 4 品名等
 - （1）上記公園における便所の大便器の洋式化に係る全ての作業をお願いします。
 - （2）納品便器の型番として、CS494J（メーカー：TOTO）またはC-P25SM（メーカー：LIXIL）と同等品以上（普通便座、蓋無し）とします。フラッシュバルブは便器に対応する手動の製品を使用してください。
 - （3）便器の設置位置及び向きについては、個室内の空間をより有効に利用できるよう考慮してください。洋式化に伴い扉が便器等と干渉する場合は改善してください。
 - （4）既存手摺および洋式化に伴い支障となるものを撤去し、撤去跡は目立たないように補修又は現状復旧してください。
 - （5）L型手摺700×700（SUS）（T113BL10（メーカー：TOTO）、KF-920S70D12J（メーカー：LIXIL）と同等品以上）を設置してください。
なお、便所の構造上L型手摺を設置できない場合は、I型手摺L300（KF-910S30J（メーカー：LIXIL）と同等品以上）とI型手摺L600（KF-910S60J（メーカー：LIXIL）と同等品以上）をL字に配置して設置することも可とします。
 - （6）給水管の移設を含みます。露出管となる場合は、SUS管としてください。
 - （7）現地の給水管設備や大便器周辺の構造を確認し、必要に応じ現状復旧を行ってください。
特に便器周辺に水が溜まらないように、排水勾配を十分に確認のうえ床タイルの復旧を行ってください。
なお、便器下部に配管ピットがある場合は、取壊しによりできた開口部を鉄筋D-10により補強してください。
 - （8）作業により発生する殻・廃棄物の処分を含みます。
 - （9）作業による周辺環境の養生を含みます。多目的便所（併設の場合）は常時使用可能としてください。
 - （10）作業時間は、平日8:00～17:30を基本とします。作業前1週間は予告看板（ラミネート等）を設置してください。
 - （11）便所棟に設置されている水は、使用可能です。

5 提出書類

- （1）完了届・請求書 1部
- （2）作業写真（前・中・後） 2部
- （3）その他、担当者が指示するもの 1部

6 その他

- （1）本作業の実施に当たっては、作業方法や日程についてあらかじめ建設局伏見土木みどり事務所の担当者と調整するものとします。また、完了後、現地での作動確認を実施します。
- （2）その他詳細については、担当者の指示によるものとします。
- （3）支払いは、施工確認が完了した後に支払うものとします。



柳長公園

伏見土木みどり事務所

No.1

柳長公園
公園入口



No.2

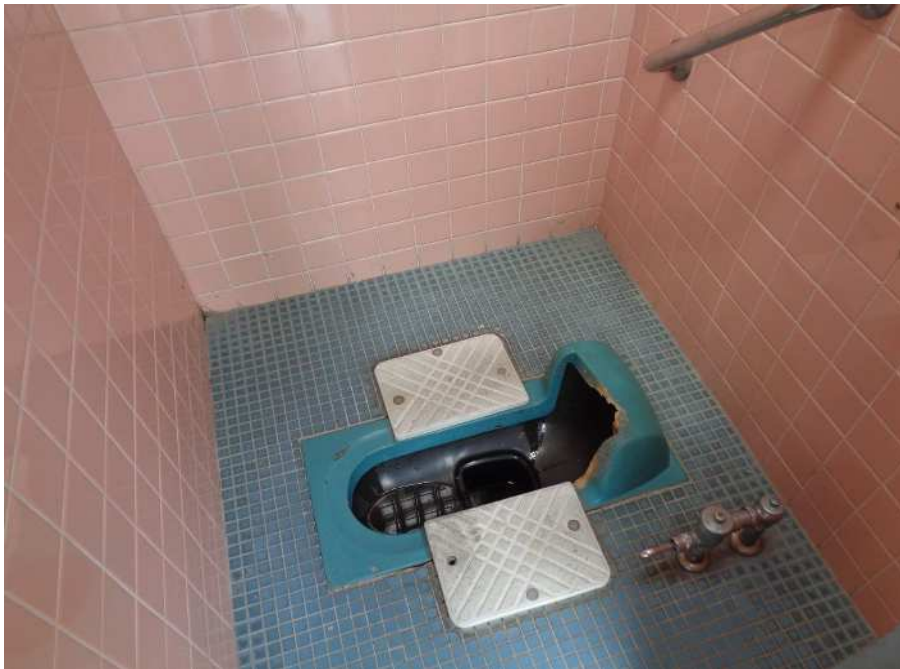
柳長公園
トイレ全景



No.3

柳長公園
共用トイレ
小便器





No.4

柳長公園

共用トイレ

小便器



No.5

柳長公園

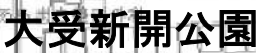
共用トイレ

手洗い

No.6

柳長公園

余白



大受新聞公園

伏見土木みどり事務所

No.1

大受新聞公園

公園入口



No.2

大受新聞公園

トイレ全景



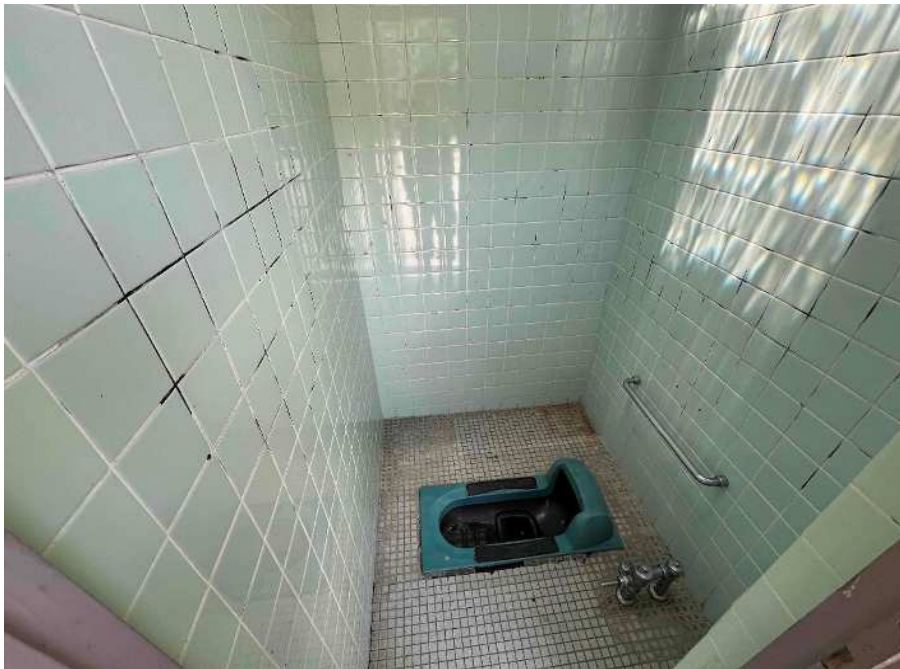
No.3

大受新聞公園

共用トイレ

小便器





No.4

大受新聞公園

共用トイレ

和式便器



No.5

大受新聞公園

共用トイレ

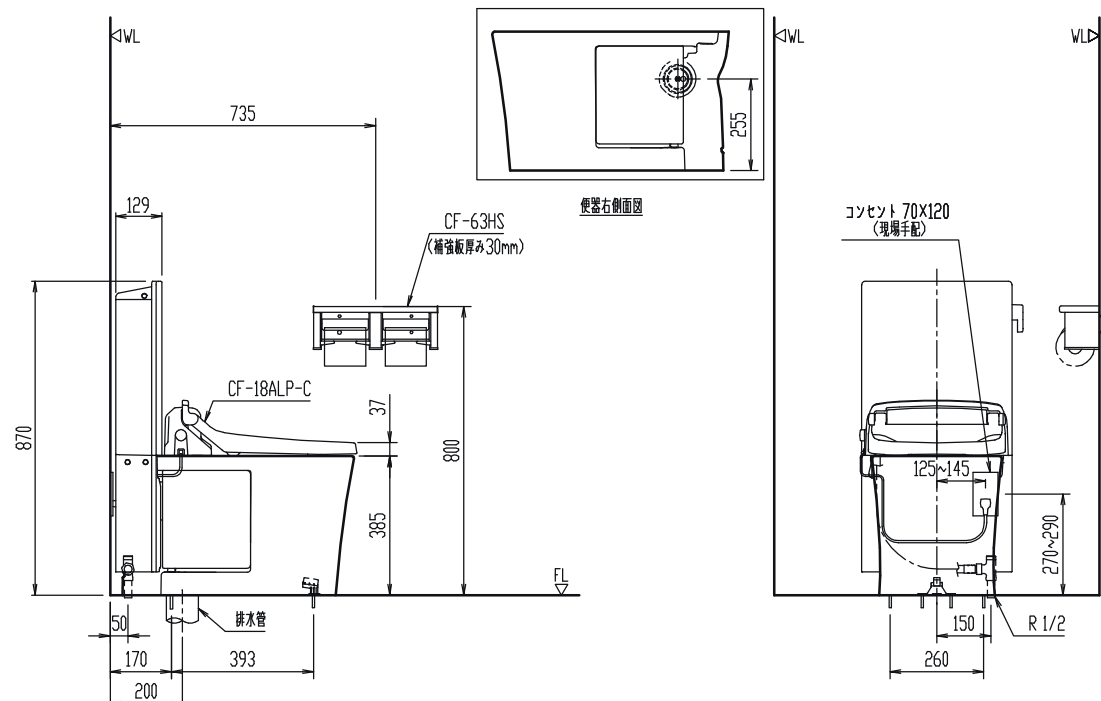
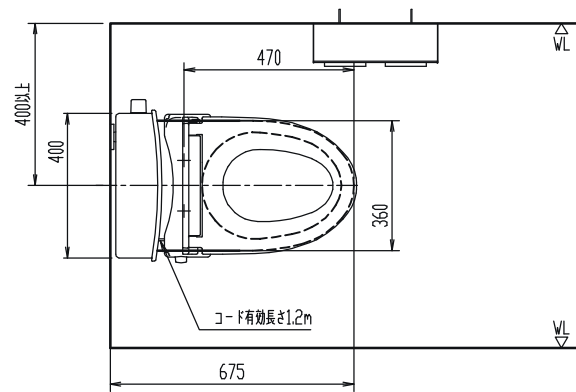
手洗い

No.6

大受新聞公園

余白

参考図

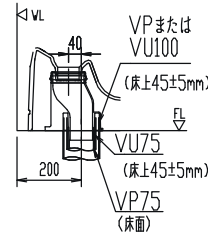


* 掃除口カバーは便器に同梱。
* 本図面では取付ビス位置のすべてを記載していません。詳細は商品同梱の説明書を参照ください。

陶器寸法許容差はJIS A5207に準ずる。 壁取付商品には、補強木による壁補強が必要です。詳しくは、商品別「壁補強」一覧を参照ください。

排水塩ビ管の接続

- * 排水芯200のみの対応です。
- * 接続は、塩ビ接着剤にて確実に行なって下さい。
- * 接続（接着）位置及び立ち上げ高さは、配管サイズにより異なります。



BC-P110SMA

洋風ネオボルテックス防露便器(掃除口付)

節水・消音・防露タイプ

洗淨水量：大5L、小3.8L

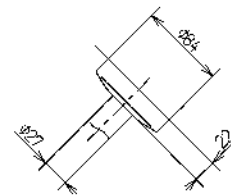
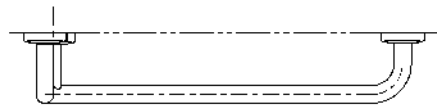
[illegible]

- ※ 最低水压0.05MPa(流動圧)以上、最高水压0.75MPa(静水压)以下。
 ※ 瞬間流量が17L/min以上確保できるように配管設計すること。
 ※ コンセントは図中の位置と大きさにて隠蔽が可能です(露出形コンセントは設置不可)。

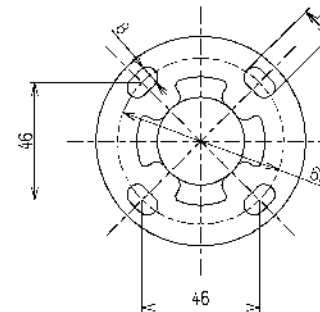
- ※ 掃除口作業スペースとして、掃除口前面部にメンテナンス空間を確保してください。

- ※ 床給水。

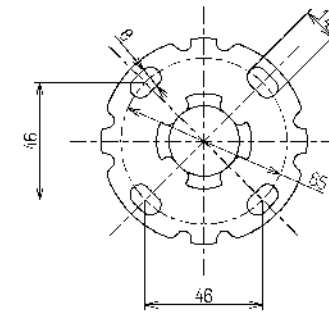
縮尺	製図	検図	備考
1:20			
日付	図番		
2019.04.03	株式会社 LIXIL		



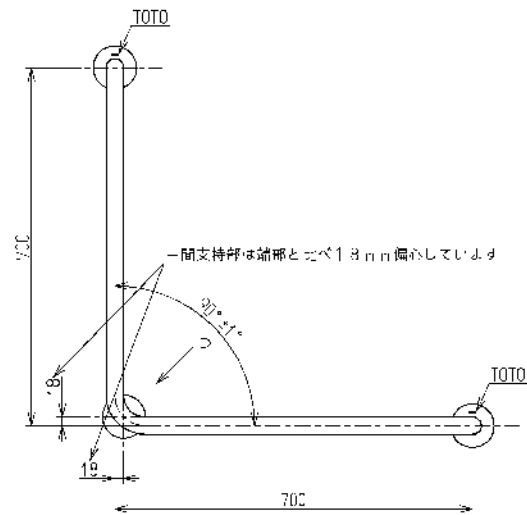
等視(1:5)



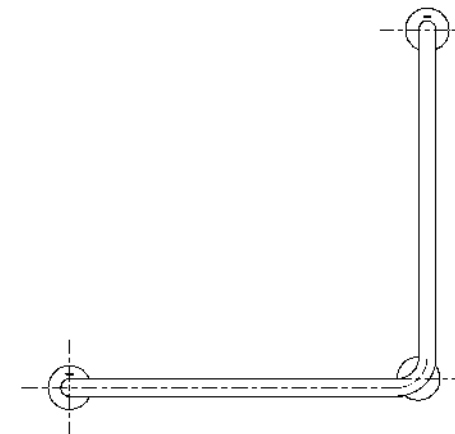
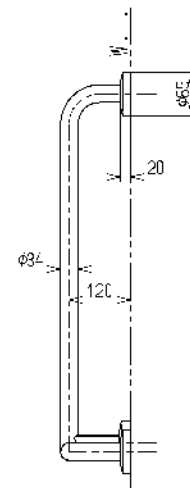
両端部取付座詳細(1:2)



中間部取付座詳細(1:2)



左壁設置の場合



右壁設置の場合(1:10)

手すりを取付ける際は、施工方法にあった当社指定の固定金具を必ず使用してください
材質：ステンレス(SUS304・ヘアライン仕上り)
※「福41用具-固定形手すり(CIS T282)」を添付しています

左右勝手共通

TOTO			単位 mm	名称
製図 (込)	検図 安立	日付 19.02.01	尺度 1:10	L型手すり
備考				図番 T113BL10

パブリック用手すり ステンレスタイプ



メーカー管理用です

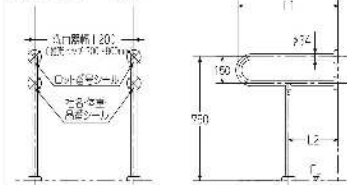
最大使用人数
100名まで
材質
手すり：ブレード フック：ステンレス（ヘアライン）

KF-312S**J KF-525**J KF-701SJ
KF-910S**J KF-920S70D12J

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

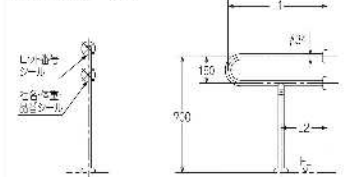
●商品図

KF-312S**J系



L1	L2	品番	質量
550	250	KF-312S55J	4.9kg
700	300	KF-312S70J	5.6kg

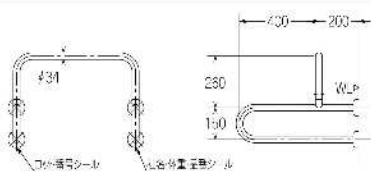
KF-525S**J系



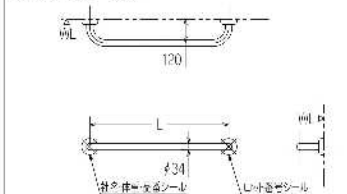
L1	L2	品番	質量
600	250	KF-525S60J	2.5kg
700	300	KF-525S70J	2.7kg
800	400	KF-525S80J	3.0kg

KF-701SJ

質量
4.7kg



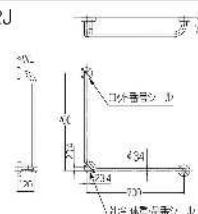
KF-910S**J系



L	品番	質量
300	KF-910S30J	0.6kg
400	KF-910S40J	0.7kg
500	KF-910S50J	0.8kg
600	KF-910S60J	0.9kg
700	KF-910S70J	1.0kg
800	KF-910S80J	1.1kg
900	KF-910S90J	1.2kg
1000	KF-910S100J	1.3kg

KF-920S70D12J

質量
2.1kg



※L/R共通仕様です。
シール位置はL仕様を表しR仕様は
ロット番号シールが左端（下取）に
きます。

【特注・サイズオーダー品の仕様について】

- 福祉用具・固定形手すりのJIS規格（JIS T 9282）に準拠していません。
- JIS規格で規定された社名、体重、品番、ロット番号の記載シールは貼られていません。
- ※JIS規格準拠品は品番末尾が「J」の製品です。本説明書の製品寸法、質量、最大使用人数はJIS規格準拠品の仕様を示しています。

●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工後はお客さまにご使用方法を十分にご説明ください。
ご使用法は、取扱説明書：「●ご使用上の注意 / パブリック用手すりステンレスタイプ」に記載されていますので、必ずお渡しください。
- この施工説明書はお客さまに保管頂くよう依頼してください。

用語および記号の説明

注意	「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
	「してはいけません！」（一般的な行動指示記号です。）
	「分解してはいけません！」
	「…指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注意

強度のある壁・建築構造体に確実に取り付けてください。 ※強度のない壁（石膏ボード・土壁等）に取り付けると手すりの脱落や壁の破損によりケガをする恐れがあります。	
屋外や水没する場所に取り付けしないでください。 ※手すりの破損や脱落により使用される方が転倒し、ケガをする恐れがあります。	
施工時に強いものをぶつけたり、強い衝撃をあてたりしないでください。 ※商品が傷ついたり、破損して、ケガをする恐れがあります。	
必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	
建築構造に合った施工方法により、外れたり、ガタが生じないように強固に取り付けてください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	
浴室など手すりには直接水がかかる場所へ取り付けの場合は、シーリングを行うなど防水対策を行ってください。 ※壁裏に浸水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。特に床固定部に水がかかる場合は、手すり固定部が腐食し、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	

落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件を守り、後述の「●固定方法」に従って、固定してください。

【乾式壁の場合】

- 石膏ボード等のボード張りには、木ねじはきません。必ずあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
- 取付木（補強木）は柱または間柱に固定してください。
- ボード張りの厚さは12.5mm以下を想定しています。厚さが12.5mmを超える場合は、越えた分だけ長いねじを別途用意してください。

【湿式壁の場合】

- ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。
- 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

●施工前のご注意

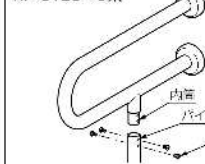
- 施工には別売の施工部材をお使いください。
- 油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
※汚れが取れなくなる恐れがあります。
- フッ素をすらするときには、必ずまっすぐかつ、ゆっくりとすらすしてください。
※ステンレス（ヘアライン）にキズがつく恐れがあります。
- 手すりの取付位置は安全に配慮し、現場で十分ご検討ください。

●施工方法

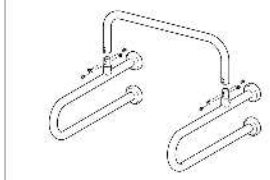
1. 手すりの組み立て

KF-910S**J系以外の品番は、出荷時に手すりが分解されています。そのため、まず、手すりを組み立てます。内筒にパイプを差し込んで付属の組立用ビスでしっかりと締め付けます。
※必ず、組み立ててから、固定をしてください。手すりを固定した後では、組み立てられないことがあります。
※組立時、組立用ビスを強く締め過ぎてバリを作らないよう注意してください。
※組立用ビスについている橙色の緩み防止剤は、施工後はみ出した分を柔らかい布できれいに拭き取ってください。

KF-525S**J系
KF-312S**J系



KF-701SJ



2. 手すりの取付位置決め

組み立てた手すりを壁・床にあて、現物合わせにて取付位置を決め、下穴位置をマークします。
※必ずフランジ取付穴の中心にマークしてください。手すりをしっかり固定できないことがあります。

